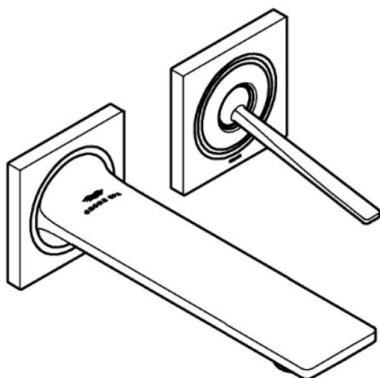


アリュール 壁出洗面混合栓化粧部 据付説明書 (お客様にお渡しください)

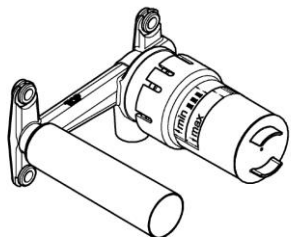
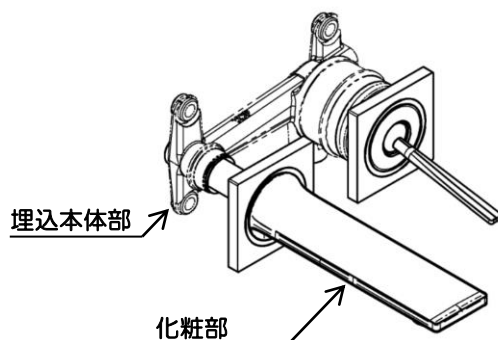
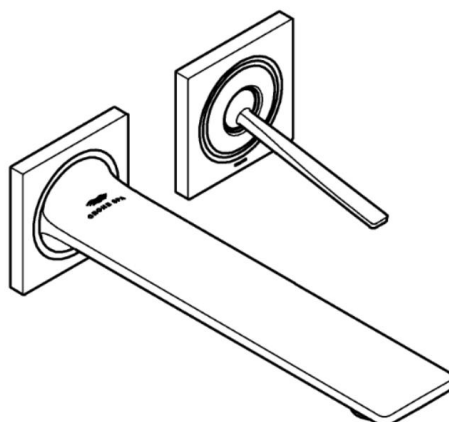
- 製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 据付完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工完了後は、この説明書を同梱の取扱説明書とあわせてお客様にお渡しください。

※欠品、キズ等が無いかわ据付前に必ず確認してください。万一欠品、キズ等があった場合はご購入先へ早めのご連絡をお願いいたします。

Sサイズ



Mサイズ



(ジョイスティック壁出洗面混合栓 埋込本体部)
と組合わせてご使用いただく製品です。

※埋込本体の埋込寸法によって、
カートリッジ内部の接続パイプの入れ替えが必要になります。

安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様ではありませんので、水抜きには工具を必要とします。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、開閉レバー、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用条件

●給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器(ボイラー、電気温水器)と組み合わせる場合

最低必要圧力0.1MPa[1kgf/cm²](流動圧)～最高圧力0.74MPa[7.5kgf/cm²](静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

◇給水圧力が0.74MPa[7.5kgf/cm²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

●水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

●水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

据付前の注意

●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

●給水は上水道に接続してください。

※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

●開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

●必ず配管中の異物(ゴミ、砂等)を完全に洗い流してください。

●寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。

●本体を確実に固定する為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

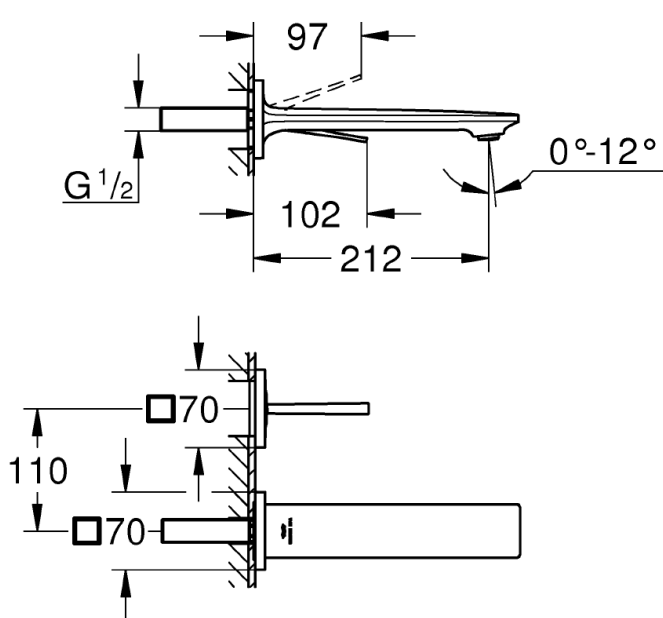
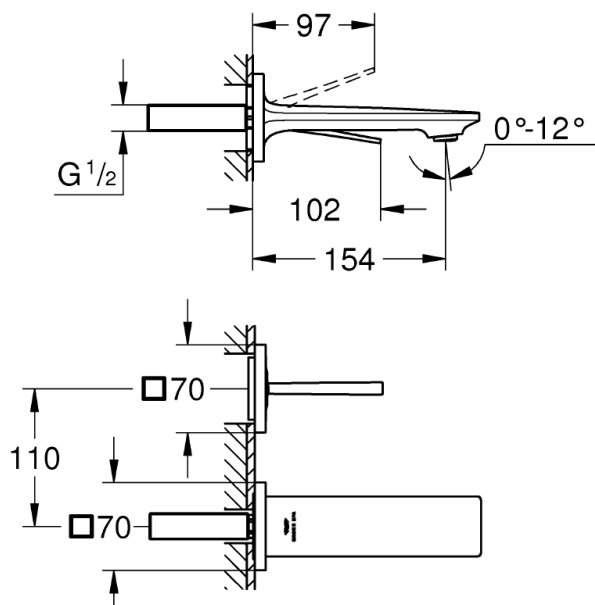
●接続ネジは平行ねじG1/2です。テーパねじ(TP1/2、R1/2)には使用しないでください。

施工準備

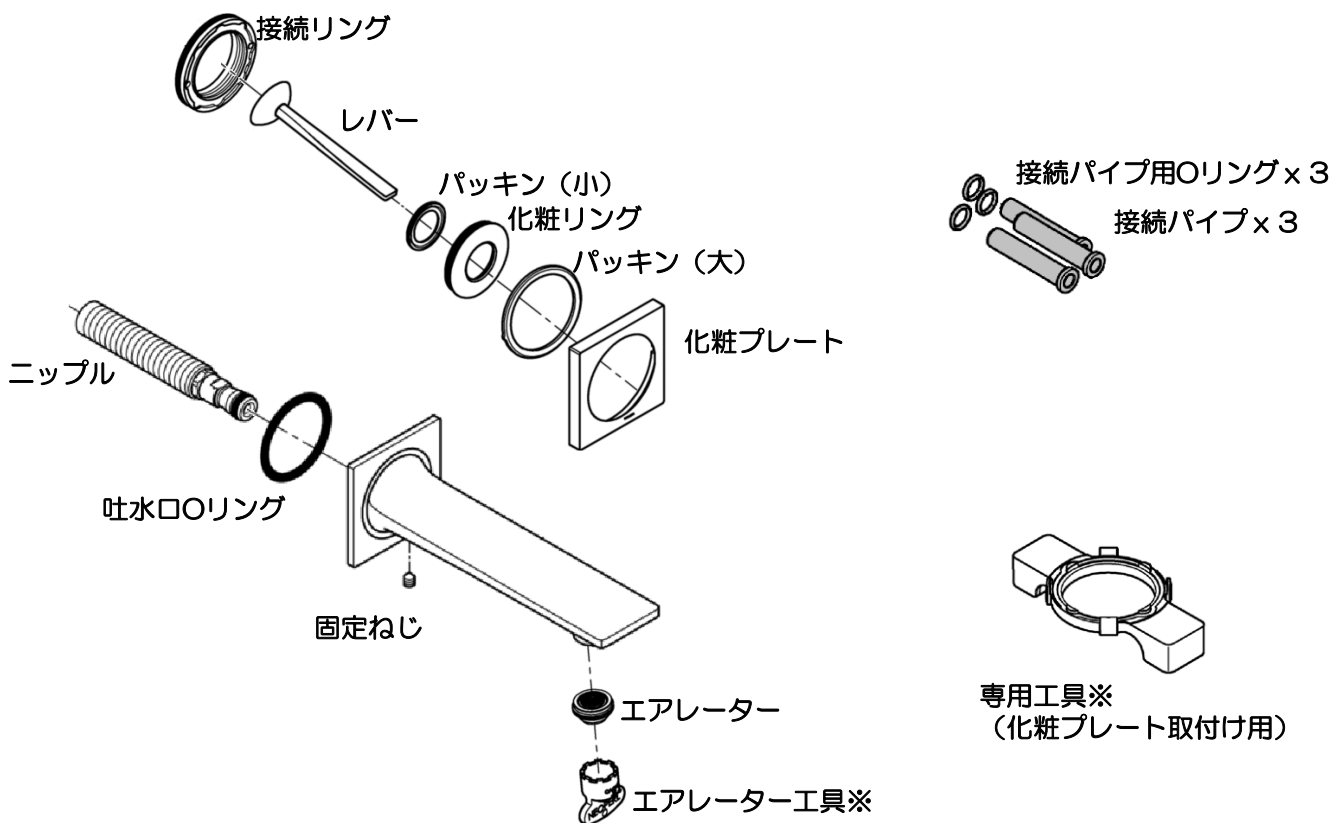
設置寸法

Sサイズ

Mサイズ



各部名称

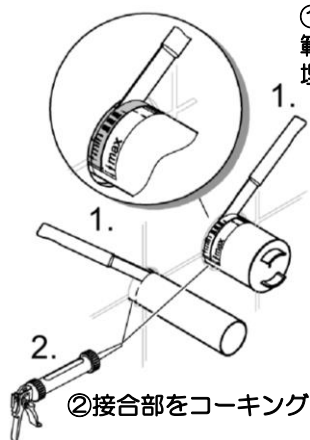


※専用工具はお手入れやメンテナンス時に使用します。
 施工完了後はお客様へお渡してください。

施工手順

1. 埋込寸法の確認とカバーの切除

壁仕上げ面が埋込本体部の表示シール位置にあることを確認し、壁仕上げ面からはみ出た部分をカッター等で切除します。



①切除位置が、表示シールの範囲内にあることを確認し、埋込本体部の不要部分を切除

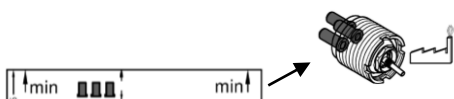
②接合部をコーキング

注意

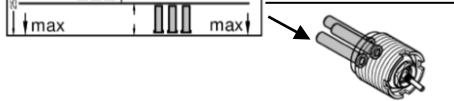
- ・切除位置が表示シールの範囲内でない場合、施工出来ません。
- ・カバーを削除するときには、内部のカートリッジにキズが付かないようにしてください。

ポイント

カバーの切除位置が、表示シールのmax側の場合のみ、部品の組替えが必要です。



切除した位置が“min”側の場合、部品組替えは不要ですので次ページへ進んでください。



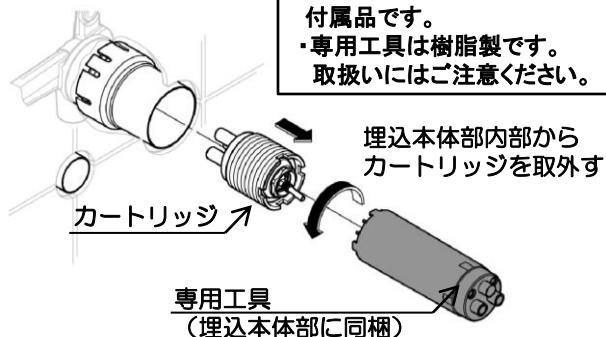
切除した位置が“max”側の場合、カートリッジの接続パイプを長いものへ組替えます。
『埋込寸法が“max”側の場合の部品組替え』を行ってください。

埋込寸法が“max”側の場合の部品組替え

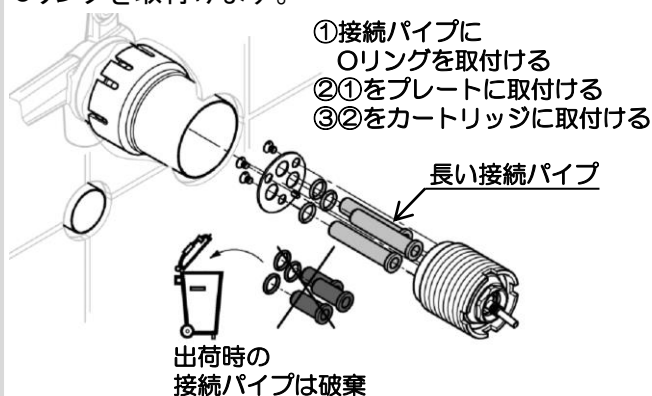
1. 付属の専用工具を使用して、埋込本体部からカートリッジを取外します。

注意

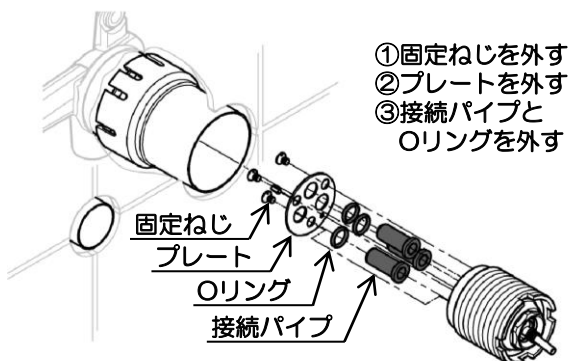
- ・専用工具は埋込本体部の付属品です。
- ・専用工具は樹脂製です。取扱いにはご注意ください。



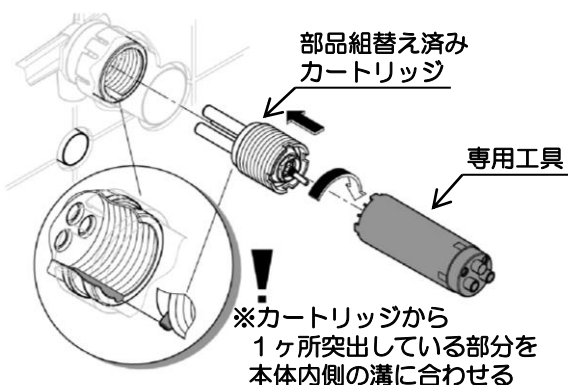
3. 取外した接続パイプを破棄し、長い接続パイプとリングを取付けます。



2. カートリッジから下記①～③の手順で接続パイプを取外します。



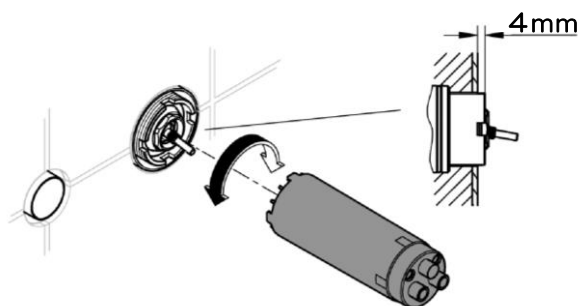
4. 専用工具を使用してカートリッジを取付けます。



施工手順

2. カートリッジ取付寸法の確認

専用工具を使用してカートリッジを締め付けていき、カートリッジが壁の仕上面から4mm突出した状態にする。

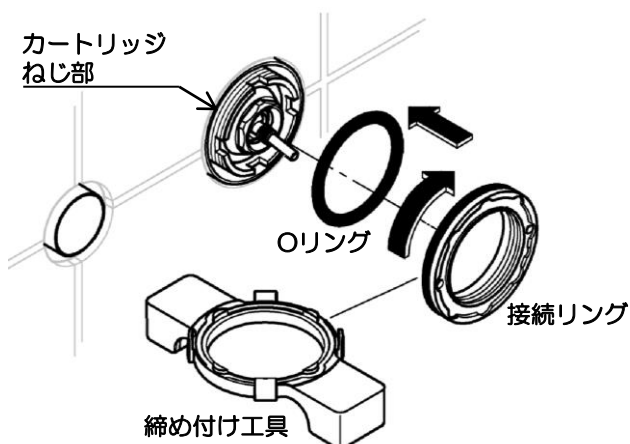


注意

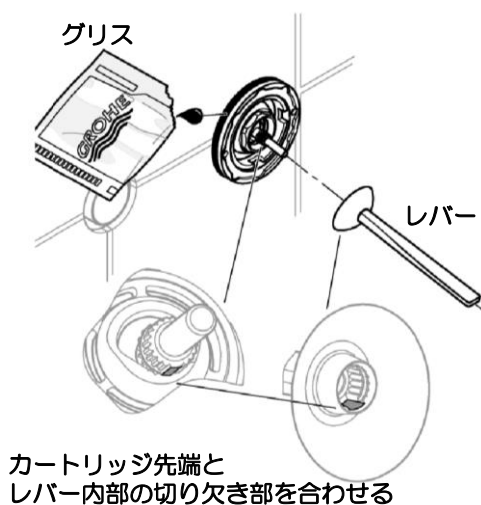
カートリッジの取付け寸法は規定寸法を厳守してください。壁面に隙間があいたり、レバーが正しく取付けられなくなります。

3. レバーと化粧プレートの取付け

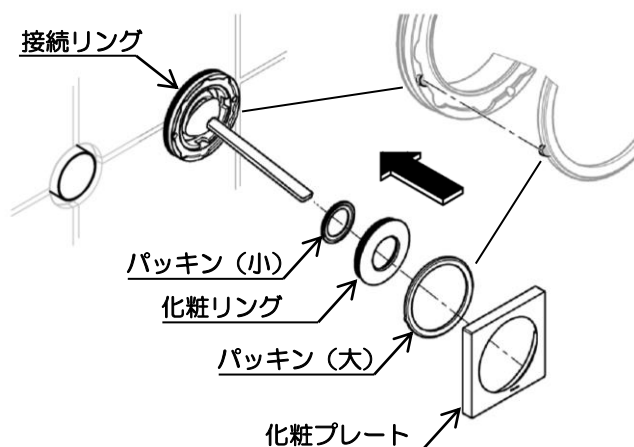
1. 専用の締め付け工具を使用して、カートリッジのねじ部にOリングと接続リングをねじ込みます。



2. Oリングにグリスを塗布し、レバー内部の切り欠きとカートリッジ先端の切り欠きを合わせてレバーを取付けます。



3. パッキン(小)、化粧リング、パッキン(大)化粧プレートの順で取り付けます。



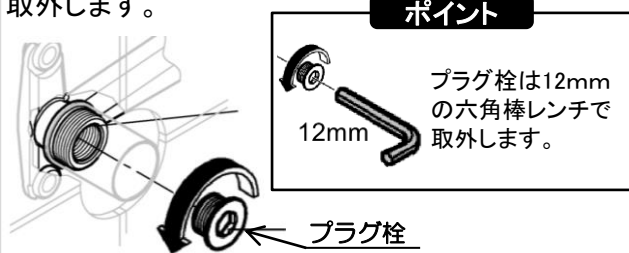
注意

- ・パッキン(大)の凸部と、接続リングの凸部を合わせて取付けます。
- ・化粧リング、化粧プレートはOリングにしっかりはめ込んでください。
- ・化粧プレートの湯水表示は下側になります。
- ・はめ込みが十分でない場合はカートリッジ取付寸法を確認し、どうしてもグラつく場合はコーキング等に対応してください。

施工手順

4. 吐水口ニップルの確認と組立て

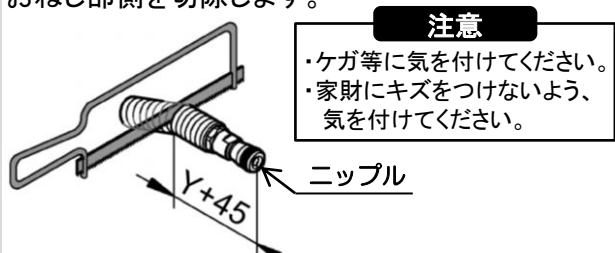
1. 埋込本体部の吐水口接続部からプラグ栓を取外します。



2. 埋込本体部から壁仕上げ面までの距離を測定します。

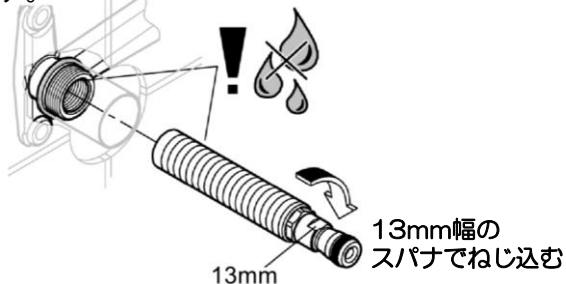


3. (Y+45mm)になるよう、金ノコ等でニップルのおねじ部側を切除します。



注意
ニップルの切断は規定寸法を厳守してください。壁面に隙間があったり、吐水口が取付けられない場合があります。

4. ニップルの接続ネジ部にシール剤（シールテープ等）を使用し、13mm幅のスパナで右回しにねじ込みます。



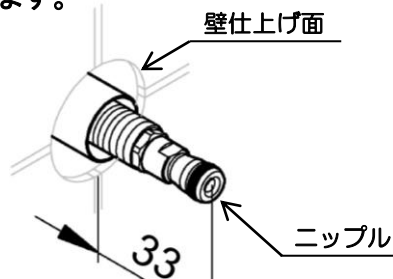
注意

シールテープ



- ・ニップルが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、配管の固定を再度確認してください。
- ・ニップルの接続ねじ部にはシール材をご使用ください。

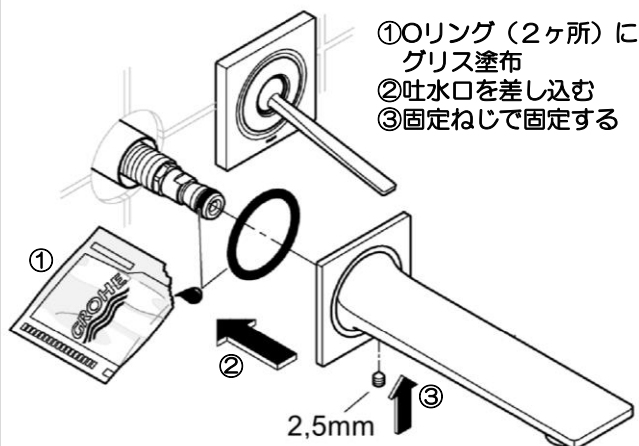
5. ニップルが壁仕上げ面から33mm突出していることを確認します。



注意

ニップルのねじ込みは規定寸法を守ってください。壁面に隙間があったり、吐水口が取り付けられない場合があります。

6. ニップル先端と吐水口Oリングにグリスを塗布し、吐水口をしっかり差し込み、化粧プレートの下側に固定ビスを取付けます。



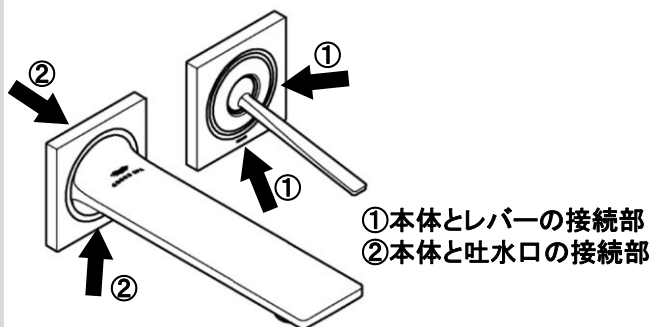
注意

- ・固定ねじは2.5mm六角棒レンチで締め付けてください。
- ・Oリングにキズやゴミかみがないか確認してください。
- ・化粧プレートのグラつきがある場合や、壁内部へ水の浸入の恐れがある場合は、コーキング等シール材を使用してください。
- ・吐水口が確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度固定ビスを締め直してください。

施工後の確認

設置後の確認

本製品を設置後は、必ず湯水のパルプをあけて吐水・止水を繰り返し接続部に漏水がないかご確認ください。



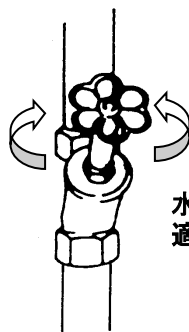
①本体とレバーの接続部
②本体と吐水口の接続部

注意

通水後漏水の無いことを必ず確認して下さい。

水量・湯温の調節

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節してください。



水量の調整が可能になり、適量・適温が得られるようになります。

ポイント

湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。

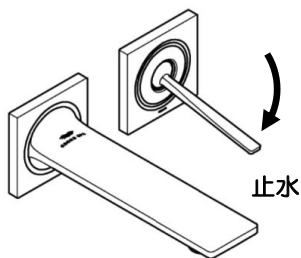
エアレーターの清掃

吐出量が少なくなった場合はエアレーター（整流器）のゴミ等が詰まっている可能性があります。ご使用の水栓に合った説明をご確認のうえ手順にそって清掃をしてください

注意

※エアレーターの掃除をする際は、ストレーナーをゆるめる前に必ずレバーを止水状態にして行って下さい。
※エアレーターを掃除する際は、排水栓を閉じて行って下さい。
※エアレーターに詰まったごみなどが除去できない場合はエアレーターの交換が必要になります。
※引き渡し間もない場合、工事で使用したシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。

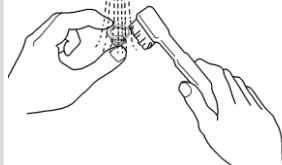
1. レバーハンドルを止水状態にします。



止水

3. エアレーターに付着したゴミを取り除きます。

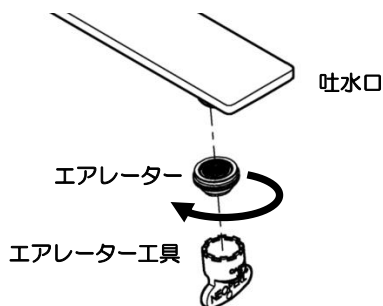
やわらかいブラシでこする
ゴミを水で流す



ポイント

設置直後にはシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。

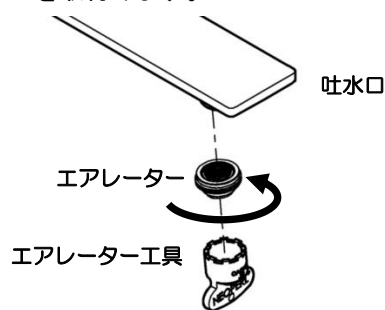
2. 専用工具を使用し、エアレーターを反時計回りに回して外します。



注意

エアレーターは樹脂製です。吐水口側のねじへ正確にゆっくりねじ込まないと、樹脂製のねじが破損する場合があります。

4. エアレーターを取付けます。

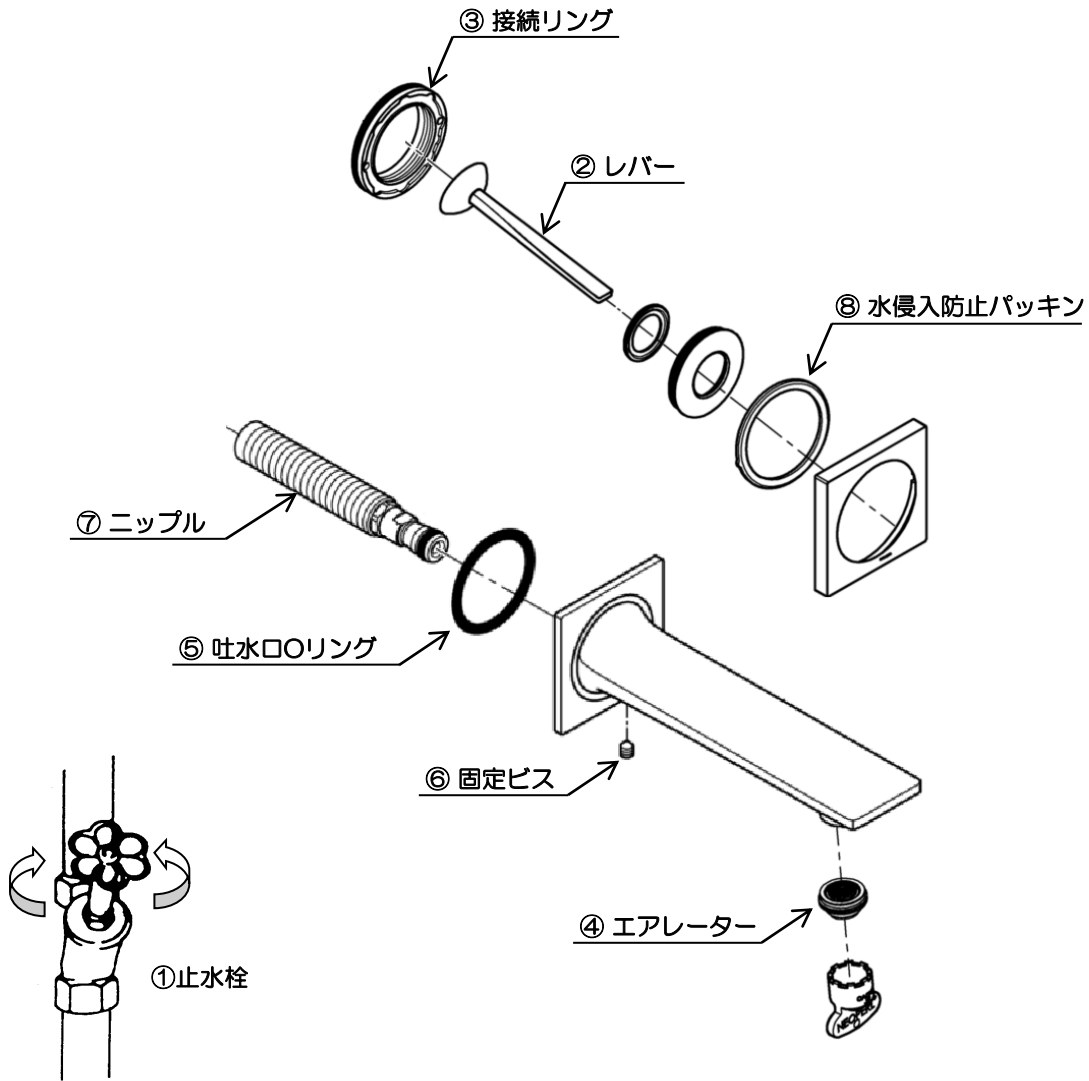


注意

清掃後は確実にエアレーターを取付けてください。

故障と点検

製品設置後に万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行って下さい。



現象	点検箇所	確認事項
吐水量が少ない	①	全開されていますか？圧力は十分ですか？
	④	ゴミ詰まりはありませんか？
温度不良	①	全開されていますか？圧力は十分ですか？
湯が出ない	①	全開されていますか？圧力は十分ですか？
レバーがガタつく	② ③	正しく施工されていますか？
吐水口がガタつく	⑥	締付けは十分ですか？
	⑦	正しく施工されていますか？
吐水口から漏水する	⑤	キズ、ゴミかみはありませんか
壁側への漏水	⑦ ⑧	正しく施工されていますか？